

氏名 Mohammad Aftabuddin

授与した学位 博士  
 専攻分野の名称 医学  
 学位授与番号 博乙第 2883 号  
 学位授与の日付 平成7年 6月30日  
 学位授与の要件 博士の学位論文提出者

(学位規則第4条第2項該当)

学位論文題目 Correlation between the number of apoptotic cells and expression of the apoptosis-related antigens Fas, Le<sup>y</sup> and bcl-2 protein in non-Hodgkin's lymphomas(非ホジキンリンパ腫に於けるアポトーシス細胞数とアポトーシス関連抗原Fas、Le<sup>y</sup>抗原 bcl-2蛋白の発現との関係)

論文審査委員 教授 岡田 茂 教授 原田 実根 教授 清水 憲二

### 学位論文内容の要旨

非ホジキンリンパ腫56例および反応性リンパ節過形成10例に於てアポトーシス細胞数とアポトーシス関連抗原の発現の関係を調べた。アポトーシス細胞はin situ end labeling法標本で計数し、Fas、Le<sup>y</sup>抗原及びbcl-2蛋白の発現は免疫組織化学的に検索した。

Le<sup>y</sup>抗原は反応性リンパ節過形成の胚中心と非ホジキンリンパ腫の45%の症例において発現が見られた。濾胞性リンパ腫のアポトーシス細胞数は反応性過形成及びびまん性リンパ腫に比べ有意に少なく、特に濾胞内では少なかった。びまん性リンパ腫ではB細胞性T細胞性の間でアポトーシス細胞数に差は認められなかった。Le<sup>y</sup>抗原陽性リンパ腫のアポトーシス細胞数は陰性例に比して高く、特にびまん性リンパ腫に於て差が見られた。Fas抗原陽性リンパ腫のアポトーシス細胞数は陰性例よりも高く、特に濾胞性リンパ腫に於て高かった。bcl-2蛋白陽性例と陰性例ではアポトーシス細胞数に有意の差は見られなかった。

これらの結果より、非ホジキンリンパ腫に於てFasまたはLe<sup>y</sup>抗原の発現は、アポトーシスに陥りやすいリンパ球の形質発現に関係しているものと推測される。しかしbcl-2抗原陰性のリンパ腫ではアポトーシス抑制に他の因子が関与している可能性を考慮する必要がある。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

### 論文審査結果の要旨

本論文は非ホジキンリンパ腫と反応性リンパ節形成に於てアポトーシス細胞数とアポトーシス関連抗原の発現の関係を調べた。アポトーシス細胞はTDT陽性細胞で計数し、Fas、Le<sup>y</sup>抗原及びbcl-2蛋白の発現は免疫組織化学的に検索したものである。その結果、非ホジキンリンパ腫に於てFasまたはLe<sup>y</sup>抗原の発現は、アポトーシスに陥りやすいリンパ球の形質発現に関係しているものと推測される。しかしbcl-2抗原陰性のリンパ腫ではアポトーシス抑制に他の因子が関与している可能性を考慮する必要があることを示した。これらの結果は非ホジキンリンパ腫、特に濾胞性リンパ腫におけるアポトーシスの意義をより明確にしたものと考えられ、学位を授与するにふさわしい内容と考える。よって本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。